

「マンガ」と「アニメ」の原点 “北斎”

北斎は、ダ・ヴィンチの『モナ・リザ』と並び名画と称される『富嶽三十六景 神奈川沖浪裏』（通称；大波、1830～1834年頃）の作者で、世界で最も有名な日本人アーティスト「HOKUSAI」です。

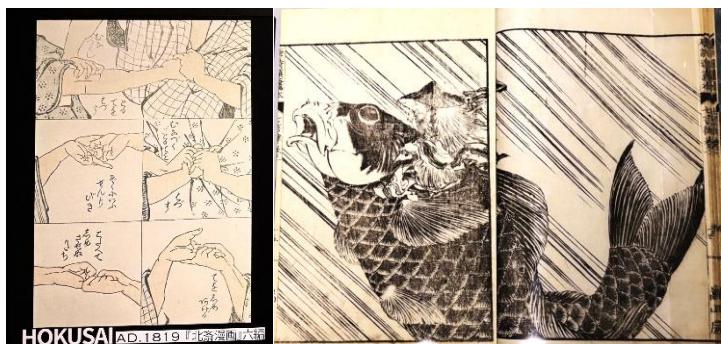
富士山を描いた富嶽三十六景や『富嶽百景』があまりにも有名ですが、世界が讃える現代のジャパンカルチャー「マンガ」や「アニメ」の原点が実は北斎の“しわざ”だという、「ぜんぶ、北斎のしわざでした展」が東京・京橋で開催中（2025.11.30まで）ですので、少し紹介させていただきます。

北斎は90年の生涯で30,000点もの作品を残したそうですが、その間に93回も引っ越しし、30以上の画号を使い分けたという自由奔放な生き様でした。画号の代表的なものとしては、「春朗（20～35才）」→「宗理（36～39才）」→「葛飾北斎（40～55才）」→「戴斗（56～60才；北斎漫画に代表される絵手本の制作に注力）」→「為一（61～74才；代表作とも言える『富嶽三十六景』を始めとした風景版画を制作した時代）」→「画狂老人元（75～90才）」があるそうですが、“葛飾”北斎と名乗っていた時代は意外と短かったのですね。



北斎と言えば風景画のイメージが強いですが、今から約200年も前に『北斎漫画』というものを制作していました。「漫画」とありますが、基本的には「絵手本」というもので、初編（1814年）が刊行されてから、北斎の死後29年を経て15編で完結するまで64年が費やされ、まさに北斎のライフワークといえるものでした。

北斎漫画に描かれた図の総数は3,000を超えるそうですが、その中のいくつかには、紙と筆しかなかった時代にあって、光や動きを表現する「集中線」、時間・空間・感情を分かりやすく伝える「コマ割り」、「ギャグ描写」、「アニメ原画」など、現代のマンガやアニメの表現の原点ともいえる描写が多く見られます。アニメは一般的に1秒24枚の絵で構成されますが、そんなことを全く知らない北斎なのに、アニメーションともいえる連続絵を200年前にすでに描いていたのは驚きです。現代の『呪術廻戦』や『鬼滅の刃』にも受け継がれているのかもしれませんね。



余談ですが、“大波”を含む『富嶽三十六景』は、当初は名前の通り「三十六景」の揃物でしたが、売れ行き好調のため十点追加されて実は46図ある（追加された十点は「裏富士」と呼ばれる）そうです。“大波”は5000～8000枚が当時に摺られたと推測され、現在世界中の美術館で100点ほどが収蔵されていますが、20～30点が市場に流通しているといわれ、2023年には浮世絵版画として世界最高額となる276万ドル（当時で約3億6000万円）で落札されています。一方、2024年に発行された日本銀行の千円紙幣の裏にも“大波”は描かれていますので、新紙幣の発行は最後かもしれないと言われる中、日本を代表するアートが描かれた千円札はとても貴重なのかもしれません。

なお、NHKの大河ドラマ「べらぼう」（横浜流星主演）にも、若き“春朗時代”的北斎が登場するようです。

無用之用

今年のノーベル生理学・医学賞に大阪大学の坂口志文・特任教授、ノーベル化学賞に京都大学の北川進・特別教授がそれぞれ受賞されました。おめでとうございます。

免疫が自分自身を過剰に攻撃するのを抑える「制御性T細胞」を発見し、治療に応用した坂口教授、地球温暖化の原因になる二酸化炭素の回収など様々な環境問題の解決につながる可能性がある「金属有機構造体」を開発した北川教授。いずれも最初は周囲から認められなかつたり、想定した結果と異なつたりと大変苦労されたそうですが、長年の継続的な努力が結実して本当によかったです。

受賞会見で、北川教授が中国の思想家・莊子が説いた「無用之用」を座右の銘としてきたと言わっていました。この言葉は「一見役に立たないと思われているものが、実は重要な役割を果たしている」という意味であり、「人は皆、有用なもの価値は知っているが、無用ものの価値を知らない」という一節が由来だそうです。北川教授が発見されたのは、物質にあいた無数の「孔」（穴）で、当初はまさしく“無用”に思えたそうですが、役に立たない・無駄なものだと思わずにはうつて見ることで別のかたちで世に送り出せるのではと考えた結果、多孔性材料の極小の空間に気体（ガス）を取り込むことでこれまでにない機能を発揮することを見い出されました。

坂口教授と北川教授はともに現在74歳。北斎は、75歳になってからも『富嶽百景』で102図もの富士をすべて違う構図で描くことにチャレンジし、90歳で亡くなるまで“画”を極め続けたそうですから、お二人の教授もさらに研究を極めていかれるものと期待しております。

北斎から始まったマンガもアニメも、今や日本を代表するカルチャーであり豊かな生活の一部ですから、まさに「無用之用」と言えますね。（O）

お知らせ

酪農・豆知識（第138号）の概要およびURL

酪農・豆知識（第138号、令和7年10月号）では、「乳房炎」について紹介します。

「酪農・豆知識」は、当社のウェブサイトのトップページにある「技術情報」をクリックし、「酪農・豆知識」のページに入るとご覧になれます。ぜひご利用ください。

印刷用の PDF ファイル

印刷用に PDF ファイルを添付しました。PDF ファイルをご利用いただくためには、Adobe Reader が必要です。お持ちでない場合、[こちらからダウンロードし、インストールしてご利用ください。](#)

メールマガジンへの登録・ご質問等

メールマガジンの配信の停止や登録内容の変更、お問い合わせ、ご意見・ご要望等等は[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

アドレス変更をお忘れなく

人事異動、転退職等でメールアドレスが変更になった場合で、引き続き日産合成工業株式会社のメールマガジンの配信を希望される方は、旧アドレスと新アドレス及び新所属等を[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。配信できなくなったアドレスは、メーリングリストから自動的に削除しておりますので、よろしくお願いします。

QR コード

QR コードから、[当社のウェブサイト](#)のトップページにアクセスできます。

